

丸亀城石垣崩落復旧整備事業の 工期および全体事業費を見直しました

平成 30 年の崩落以降、丸亀城石垣の復旧整備を進めておりますが、現代工法の導入や新石材の製作数増加に伴い、工期および事業費の見直しを行いました。

○今回の見直し内容

	見直し前	見直し後
全 体 工 期	令和元年度～令和 9 年度	令和元年度～令和 12 年度（令和 13 年 3 月末）
全体事業費	52.5 億円	86 億円（33.5 億円増）

【主な工期延伸の理由】

- ① 高さ 31 メートルの高石垣を積み上げる工事は難工事で、慎重な作業が必要となるため。
- ② 崩落により当初の想定より多くの石材が破損しており、新しく製作する「新石材」の個数が増加したため。

【主な事業費増額の理由】

- ① 必要な現代工法の採用にかかる事業費を反映させたため。
- ② 石材の製作数が増えるとともに、人件費や物価の高騰により 1 石あたりの製作費が増えたため。
- ③ 工期延伸に伴って、人件費やクレーンの賃料などが増えたため。

今後も引き続き、「あの美しい石垣をもう一度」のスローガンのもと、歴史的価値を後世へ伝えるため全力で取り組むとともに、1 日も早い工事の完成を目指しますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 7 年 6 月

